

リナグリプチン長期投与における効果と安全性  
～2年投与による脂質及び肝機能改善効果について～

1. 研究の背景

TECOS 試験などで各 DPP4 阻害薬の長期投与における有用性及び安全性が示され、リナグリプチン (Lina) についても 2 年投与した有効性及び安全性が示されている。糖尿病症例にしばしば合併する脂質異常および肝機能障害への効果については報告が少なく、本邦においては未だ報告されていない。

Lina を 2 年間継続使用した症例について、その脂質代謝および肝機能への効果および安全性を評価することで、今後の治療薬選択に有用な情報となりえると考えます。

2. 研究の詳細

今回の試験では、Lina の脂質代謝および肝機能への効果と安全性を評価することを目的とする。当院で Lina を長期間使用した 2 型糖尿病患者で、糖尿病薬の変更がない症例について代謝パラメータを後ろ向きに検討することにより、Lina の脂質代謝および肝機能への効果、安全性を評価する。

3. 目標症例数と研究実施期間

当院で Lina を長期間使用した 2 型糖尿病患者で、糖尿病薬の変更がない症例を対象とする。目標症例数は 30 症例とする。研究実施期間は 2016 年 4 月 1 日～2018 年 9 月 30 日とする。

4. 研究実施者及び連絡方法

研究責任者：地域医療機能推進機構金沢病院 内科 診療部長 古川 健治

研究分担者：岡崎智子、山秋直人、大山公典、臼倉幹哉、米田隆

TEL：地域医療機能推進機構金沢病院 (代表) 076-252-2200